

R241(音更大通)通信

より利用しやすく安全な道に

このニュースレターは、「国道241号(音更大通)に係る交通課題検討のための懇談会」の検討内容を町民の皆様にお知らせするために作成し配布しているものです。

第2回懇談会

平成23年11月2日に第2回懇談会を開催しました。第2回懇談会では、第1回懇談会で議論した国道241号の交通課題についておさらいをした上で、その改善案について議論しました。

改善の方向性

第1回懇談会で出された意見と、音更町民の皆様を対象に実施したアンケート調査結果から、改善の方向性を「道路構造」「使われ方」「ネットワーク」の3つの視点から検討していくこととしました。



改善案について

■幅広2車線区間の改善

短期

第1回懇談会やアンケート調査から、「4車線と思って走行している車両が多い」、「左折レーン、右折レーンを直進する車両が多い」、「前方車両の動向が予測できない」といった問題点が挙げられました。このような問題点に対し、「車線運用の明確化」、「沿道出入り・交差点に配慮した道路構造」といった対策の方向性のもと、短期で取り組むことが可能な、下図(モニター写真)の改善案について議論しました。

沿道出入りの少ない箇所の改善案 外側線の設置



- 路肩を示す区画線を引きます。
- 2車線であることが明確になります。

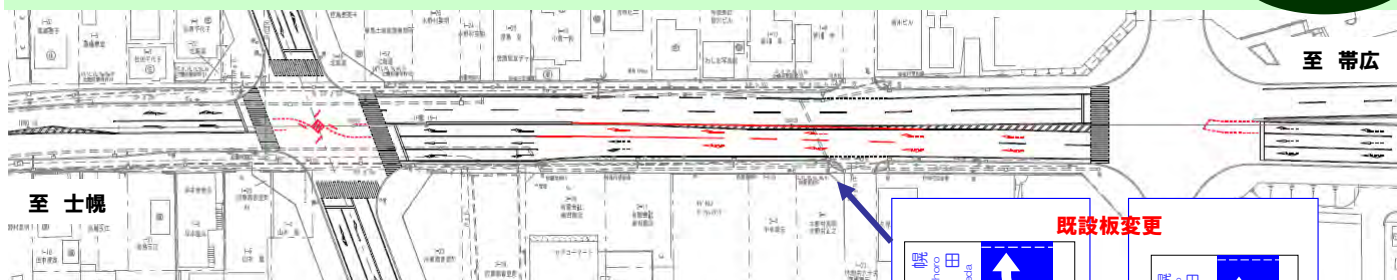
沿道出入りの多い箇所の改善案 中央帯(ゼブラゾーン)の設置



- 路肩を示す区画線と、中央帯を示すゼブラの区画線を引きます。
- 2車線であることが明確になります。
- 右折車は中央帯で右折待ちをすることができるので、追突の危険性が小さくなります。

■車線減少区間(木野大通2丁目)の改善案

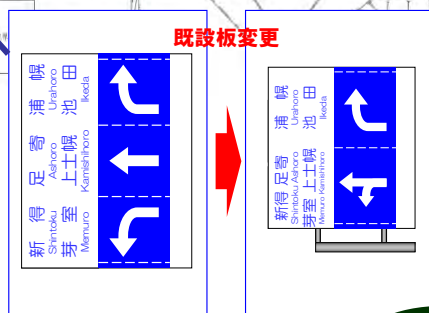
短期



直進車両が走行すべき車線を明確にするために、

- 内側車線の延長上を、右折車線とする。
- 直進車および左折車は左側車線を走行する。

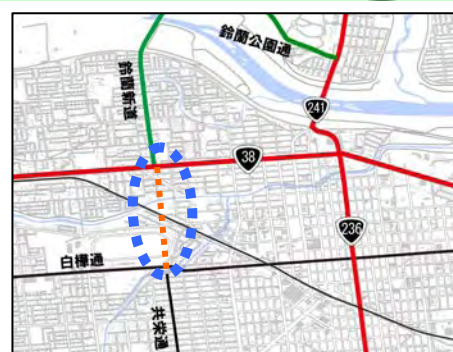
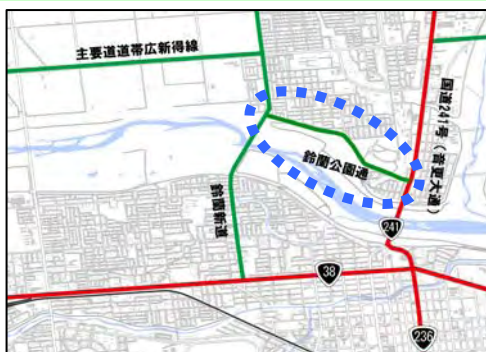
こととして、現在の区画線や案内標識を変更する。



■道路ネットワークの活用

中長期

- 鈴蘭新道と国道241号を接続する区間や、帯広市内の共栄通の整備などを今後進めていく予定。
- これらの整備により、鈴蘭新道と国道241号で交通の分散化が図られる。



懇談会参加者からの意見

【幅広2車線区間の改善案について】

- コカコーラ跡地の開発動向にも配慮すべきである。
- 区画線で車線が明確になることで、並走や追い抜きは減少すると思われる。
- 路肩は、左から追い抜きするような危険な行動が生じないようにあまり広くしないほうがよい。
- 中央帯（ゼブラゾーン）に右折車が停車することにより、直進車両がスムーズになるだろう。
- 中央帯への進入はどちらの方向からも可能なので、正面衝突など、新たな事故発生の危険性がある。
- 中央帯の使い方に関する周知が必要である。
- 混雑時に2車線が守られるか。

【車線減少区間(木野大通2丁目)の改善案について】

- 車線運用の変更は、地元だけではなく、周辺市町を含め広く周知することが必要。
- 初めての人でもわかりやすい標識等が必要。
- 利用者は音更町民だけではない。この道路の事情を知らない人でも安全に走行できるようにすべき。

【道路ネットワークの活用について】

- 帯広市内の都市計画道路の整備により、南北方向の交通の分散が図られると考える。
- ネットワークの形成については、中長期的に着実に進めていくことが必要。

次回(第3回)(平成24年2月頃開催予定)は第2回懇談会等で得られた意見による改善策の再検討結果と、改善策の進め方(行政と住民・道路利用者の役割など)について議論する予定です。

■ご意見・お問い合わせ先

【事務局】音更町建設水道部 都市計画課

北海道開発局帯広開発建設部 道路計画課

TEL:0155-42-2111

TEL:0155-24-4106